

## THE「く」の字でゴザル！

THE「く」の字でゴザル！（以下、本ソフト）をご利用いただきありがとうございます。

このソフトは、[Readme](#) をご覧になり

自己責任にてご利用くださいませ（お定まりのセリフです…スイマセン）

「く」の字でゴザル、、ってなんか変な名前ですよ。このソフトを作った切っ掛けはメールソフト OutlookExpress を使っていたとき、返信時 行頭に、引用の「>」のマークが付いていましたが、HTML メールの際は何やら立棒の違うマークが付きます。

相手の文面を一部引用したいとき「>」のマークを行頭にうまく入れられれば良いな！！

ということが始まりだったのです、、で、名前ですが引用符「>」は、読み方がわからない、ひらがなの「く」の逆向きですがとりあえず、ソフト名を「くの字ですよ」から「くの字でゴザル」になってしまいました

で、ある時から機能を追加、追加で、また追加でいつの間にやら「THE」をつけるようなややこしい物になったのです

本ソフトは登録しなくても、一部機能は制限されますが、フリーソフトとして使えます

※ 一部の機能は登録しないと制限されています（使えない機能は、クリックできません、又は入力できません）

### 【起動】

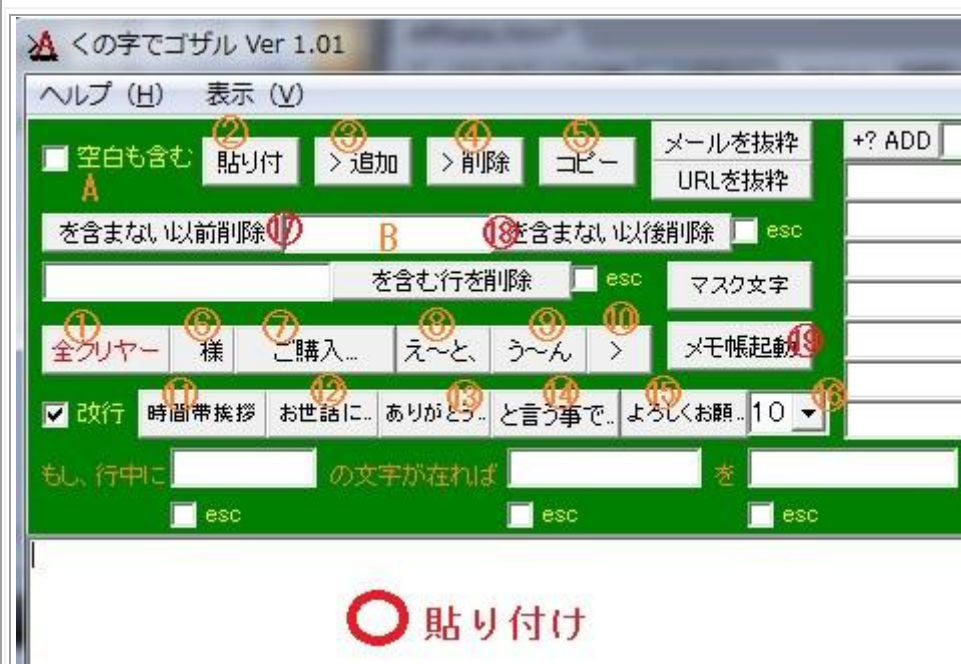
以下のアイコンをダブルクリックで起動します



kunoji.exe

## 【基本的な使用方法】

(画面1)



最初に、画面に何か不要な文字が残っている場合

①全クリヤーで消去します

加工したい文面(文字列)をクリップボードにコピーします

その後

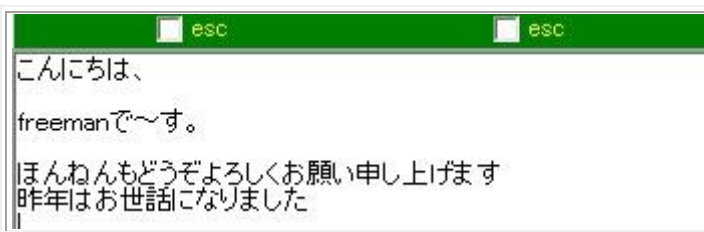
②貼り付、で○貼り付けの部分に貼り付けます

※○貼り付けの部分をマウスのセンターボタンでクリックでも貼り付けられますし、本ソフトの画面に

ファイルを Drag&Drop でも文面を読み込めます

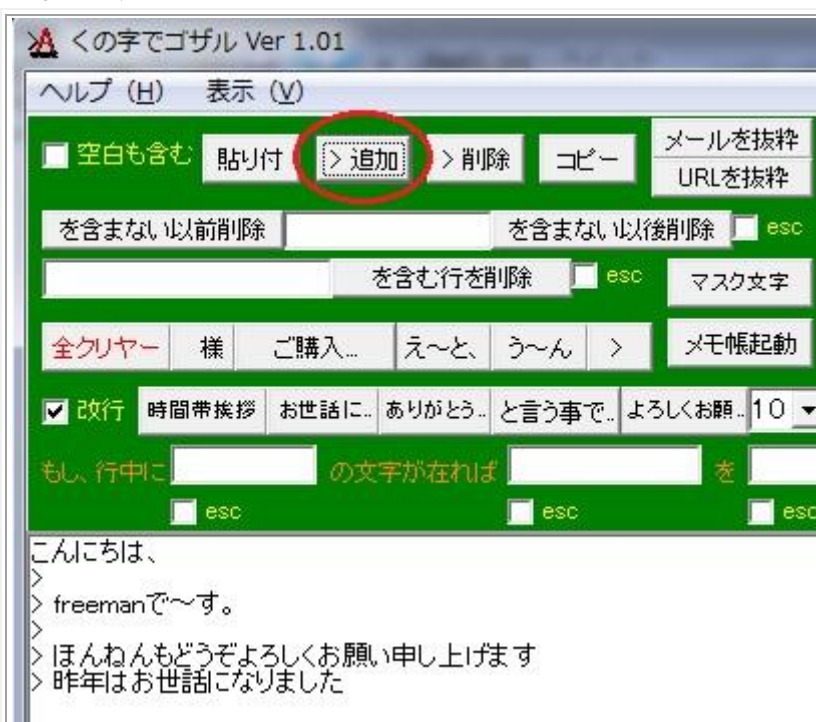
※ファイルを読み込む機能はありますが、ファイルを、上書きしたり、削除する機能はありません

・以下、読込(貼付け)ました



・③「>追加」ボタンで「>」を行頭に追加しました

※挨拶行(“おはようございます”、“こんにちは”、“こんばんは”)には「>」の文字は入りません、また、“様”、“お世話になって”の文字が行内にある場合も同様です



※上の例では「空白も含む」にチェックが入っていないのに、「空白行に」>が付いているのは  
行頭に、見えない文字” ”スペースが入っているからです

部分行に「>」を入りたい場合は⑩の



をその部分にカーソルを持っていき  
クリックします

⑤内容の「コピー」ボタンで  
クリップボードにコピーできます



⑩メモ帳の起動で「メモ帳」を起動出来ます、  
内容を貼り付けて実際に見てみると不具合がよく分かることがあります



### 【その他応用】

以下の⑥～⑮は文面に挿入する文字です



時間帯挨拶以外、キーボードの「Shif」、「Ctrl」を押したまま上の  
⑥～⑮をクリックしますと微妙に内容が違います

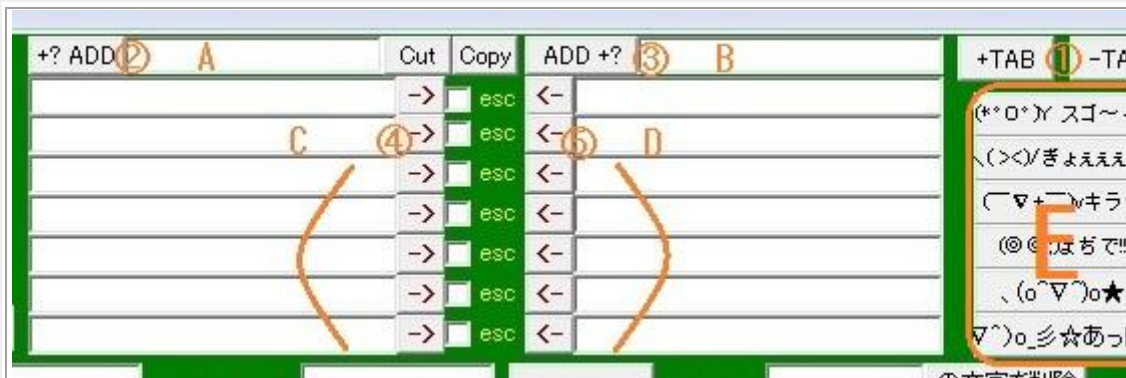
※⑯は文字サイズです

-----  
-----

## 【すこし高度な使い方】

本ソフトは、基本的な使用方法の他に、少し高度な使い方も出来ます

文面の TAB シフトは①です、部分行のシフト行を選択してクリックです



※Cut は A の文字でカット、Copy はその行をコピーしてその横に貼り付けます

②の「+?ADD」は行頭に A に入れた文字を追加

③の「ADD+?」は行末に B に入れた文字を追加

その下の④と⑤は

例えば、多すぎる改行を少なくするには以下のように

「¥r¥n¥r¥n」と、「¥r¥n」を入れて「Esc」にチェックを入れます。そして、「->」をクリックします

※「Esc」にチェックを入れるということは「エスケープ文字にするという意味」です

¥r¥n(改行)、¥t(水平タブ)、¥v(垂直タブ)など



※貼付け時は「マウスのセンターボタン」をクリックでも OK

7行ありますが、どの行で行っても OK です(設定を7通り設定できます)

※未登録版は1行目のみ稼働します

・E の部分は、挿入用の顔文字列です、キーボードの「Shift キー」、「Ctrl

キー」のいずれかを押したままの内容と  
また両方のキーを、押した状態の内容が違います(ふざけた内容です  
が、、、結構、遊べます！)

・文中の「Mail」と「URL」の抜粋は以下です



・その他の機能

- ① URLEnc は文面を URL エンコードします
- ② URLDec はその逆でデコードします
- ③ TagUrlEnc は、HTML 内のタグでくられた(タグ内)のみエンコードします
- ④ はやり直しとその逆
- ⑤ は文面を半角(出来るだけ)にします



⑥と⑦は、A の部分のみ、URL エンコード、そしてその逆 URL デコード

⑧⑨は文面の半角数字を B の数だけインクリメント⑧、又はデクリメント⑨します

(この場合日付などスラッシュ「/」で区切られていた場合等先頭の数字だけです)



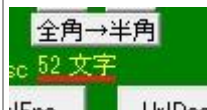
※先頭から空白(スペース)を空けない数値はカウントされません(Editorの仕様)

⑩右下の検索はその上の文字を検索します

⑪は文面を EUC-JP に変換、又はその逆(Linux の文字列の内容を見るのに便利です)

⑫は文面を Base64 に変換、又はその逆(メールのヘッダーを確認したり…)

ところで以下のように文面の文字列数が表示されている  
文字数より多いことがあります



これは Windows では改行が CrLf(¥r¥n)という文字列2文字から  
成り立っていますので改行があるとその分カウントします

※2バイト文字も1文字で換算します

・カラー値の確認

画面上部右端の以下の部分に RGB 値を入れますと  
その下に色が確認できます

※この場合「#」は入れなくても確認できます。また、  
「255,150,200」の様に数字をカンマで区切っても OK です




【実際の使用例】

例えば以下のようなプログラムを

赤い部分は消去しておき

```
switch (atoi(str))
{
case 60: strcpy(ret_str, "2"); break;
case 80: strcpy(ret_str, "5"); break;
case 100: strcpy(ret_str, "10"); break;
case 120: strcpy(ret_str, "15"); break;
case 140: strcpy(ret_str, "20"); break;
case 160: strcpy(ret_str, "25"); break;
// default : x = ;
}
```


1) 以下を実行しますと



```
case 60: strcpy(ret_str, "2"); break;
```

```
if (buf==60: strcpy(ret_str, "2"); break;
if (buf==80: strcpy(ret_str, "5"); break;
if (buf==100: strcpy(ret_str, "10"); break;
if (buf==120: strcpy(ret_str, "15"); break;
if (buf==140: strcpy(ret_str, "20"); break;
if (buf==160: strcpy(ret_str, "25"); break;
```


2) 次は以下のように



```
case 60: { strcpy(ret_str, "2"); break;
```

```
if (buf==60) { strcpy(ret_str, "2"); break;
if (buf==80) { strcpy(ret_str, "5"); break;
if (buf==100) { strcpy(ret_str, "10"); break;
if (buf==120) { strcpy(ret_str, "15"); break;
if (buf==140) { strcpy(ret_str, "20"); break;
if (buf==160) { strcpy(ret_str, "25"); break;
```

3) その次は以下のように



```
case 60: break;
```

```
if (buf==60) { strcpy(ret_str, "2"); }
if (buf==80) { strcpy(ret_str, "5"); }
```



```
if (buf==100) { strcpy(ret_str, "10"); }
if (buf==120) { strcpy(ret_str, "15"); }
if (buf==140) { strcpy(ret_str, "20"); }
if (buf==160) { strcpy(ret_str, "25"); }
```

※つまりこの程度の作業は以下のような3ステップ程度で簡単に変換できます



(応用次第で連続した作業が簡単に行えるわけです)

※登録版でないと全行使えません、フリー版は最初の行のみです

### 【登録版について】

「本ソフト」を、フル機能使用には「プロダクト ID コード (Vector にて有料800円)」が必要です

またバージョンアップは無料で、ライブアップデート出来ます。

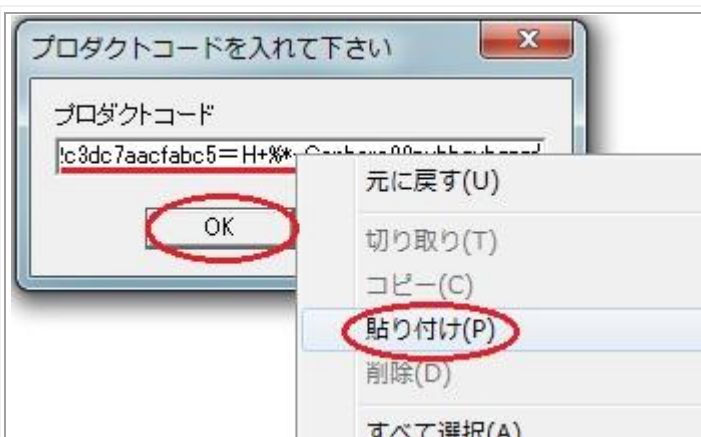
初回起動時(または5回に1度)には以下のフォームが出ますので「登録する」

本ソフト起動時に「プロダクト ID コード」の入力を求められますので「販売業者様」から送ってきた

「プロダクト ID コード」をコピー & ペーストで入力して下さい

※その場合改行が入らないように全文字を1行でコピー & ペーストして下さい

(末尾にも改行が入らないようにして下さい)



また、初回起動時に「プロダクト ID コード」の入力をしなかった場合でも以下のメニューから登録できます

